

試行排出量取引スキーム  
2010年度目標設定参加者の実績について

平成23年12月  
経済産業省、環境省

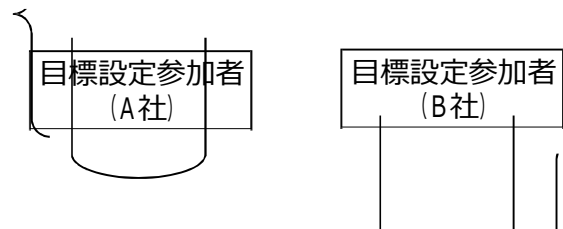
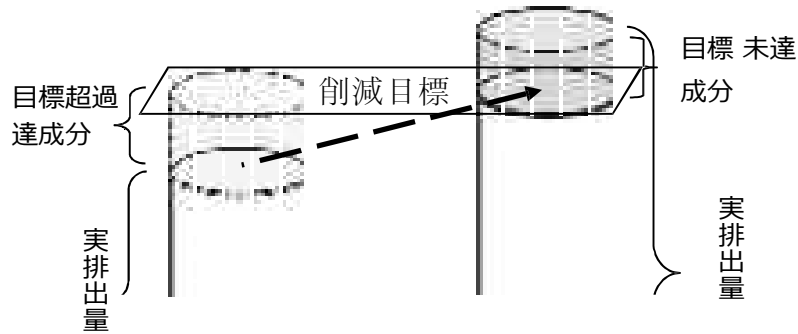
# 試行排出量取引スキームの概要

○企業等が削減目標を設定し、その目標の超過達成分 (排出枠) や国内クレジット等の取引を活用しつつ、目標達成を行う仕組み。

》参加企業等が自主的に目標 (総量目標もしくは原単位目標) を選択可) を設定。

》目標達成のために、自らの削減努力に加えて、以下の3つの排出枠・クレジットの活用が可能。

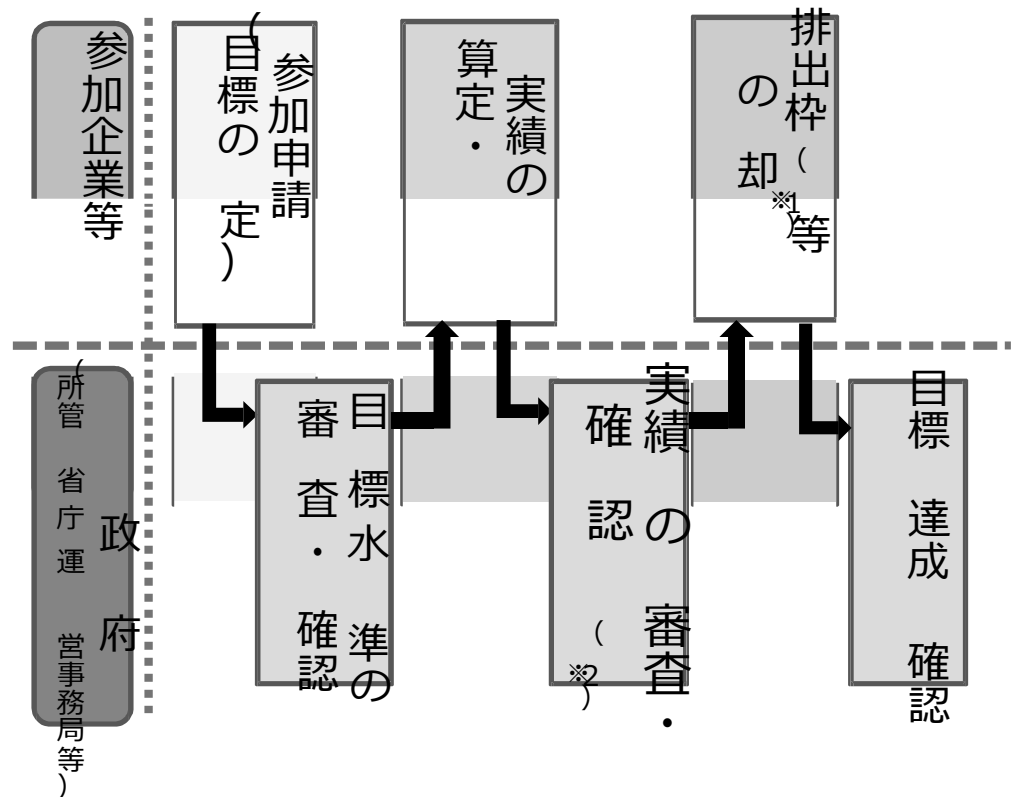
- ①他の企業の削減目標の超過達成分の排出枠、②国内クレジット、③京都クレジット



目標を達成できなかったB社(は、A社の超過達成分を取引によって充当できる。

電力・鉄鋼会社等目標を設定して参加する目標設定参加者だけでなく、商社等専ら排出枠の取引のみを行う取引参加者も存在。

## 【目標達成までの流れ】



(※1) 排出枠の取得には、事前交付と事後清算がある。

(※2) 排出枠の売却希望者、検証希望者、自主行動計画非参加企業は第三者検証機関による検証を受検する。

## 試行排出量取引スキーム 2010年度目標設定者の目標達成状況

- 試行排出量取引スキームにおいて2010年度の目標を設定した152者のうち、実排出ベースで、109者が目標を超過達成、43者が削減不足(部門別・業種別の状況は下表の通り)。
- 削減不足者のうち29者については、不足量の借り入れ(ボローイング)、試行排出枠や京都クレジット・国内クレジットの購入・償却を活用した結果、2010年度目標を達成した。
- その他の14者及び2010年度の超過達成分が過去のボローイング量に満たなかった2者(いずれも2010年度が目標設定最終年度)は目標未達成となった。
- 目標指標別では、総量目標設定者72者の内55者(76%)、原単位目標設定者は80者の内54者(67%)が目標を達成した。
- また、第三者検証は152者中50者(うち自主行動計画参加企業42者)が受検した。

部門	業種	全体		目標指標別				目標と実排出量の差分(万t-CO2)		
		超過達成	削減不足	総量		原単位			総量	原単位
				超過達成	削減不足	超過達成	削減不足			
	鉄鋼		1		1			-363	-363	
	化学等	31	11	10	5	21	6	83	32	51
産業	製紙	7	1	2		5	1	71	5	67
	セメント・板硝子等	8	2	3	1	5	1	66	42	25
	電機電子	10	3	6	2	4	1	47	22	25
	自動車	1		1				165	165	0
	その他製造	22	7	16	3	6	4	21	18	3
	電気事業	2	7			2	7	-6,621		-6,621
工ネ転	石油精製業	6				6		47		47
業務	商社・銀行・流通等	18	9	15	4	3	5	3	2	1
運輸	航空・貨物等	4	2	2	1	2	1	66	49	17
	合計	109	43	55	17	54	26	-6,414	-29	-6,385

(参考) 自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)参加者(全て総量目標)については、2010年度に削減を行った68者中32者が超過削減(2.2万t-CO2)、36者が削減不足(2.5万t-CO2)であり、目標と実績の差分の68者合計は0.3万t-CO2削減不足。2011年9月末までに前年度までのバンキング分等の排出枠の取引を活用(取引件数41件、3.0万t-CO2)し、67者が目標を達成。

## 試行排出量取引スキーム 2010年度目標設定者の目標達成状況

- 実排出ベースで目標を達成した109者のうち、10者が昨年度までの排出枠ボロージング（借り入れ）分を償却（253万t-CO<sub>2</sub>）、105者は余剰排出枠をバンキング（575万t-CO<sub>2</sub>）。
- また、実排出ベースで削減不足であった43者のうち、5者が昨年度までのバンキング排出枠を活用（365万t-CO<sub>2</sub>）、10者が外部クレジットを活用、21者がボロージングを活用（2,114万t-CO<sub>2</sub>）。
- 削減不足者のうち上記に該当しない14者及び2010年度の超過達成分が過去のボロージング量に満たなかった2者（いずれも2010年度が目標設定最終年度）は目標未達成となった。

### 達成（実排出ベース） 109者（828万t-CO<sub>2</sub>）

余剰排出枠の活用	者	活用量 (万t-CO <sub>2</sub> )
他者に売却	0	0
昨年度ボロージング分償却※1	10	253
バンキング	105	575
今年度超過達成分を 全量バンキング	98	522
昨年度までのボロージング分償 却後の余剰分をバンキング	7	53

※1: 2者はなお残る昨年度までのボロージング分を今年度も引き続きボロージング（342万t-CO<sub>2</sub>）。

### 削減不足 43者（7,242万t-CO<sub>2</sub>）

不足分の埋め合わせに活用した 排出枠・クレジット	者	活用量 (万t-CO <sub>2</sub> )
昨年度までのバンキング排出枠※2	5	365
他者排出枠	0	0
外部クレジット	10	4,760
ボロージング※3	21	2,114
今年度削減不足分を 全量ボロージング	15	23
外部クレジット、昨年度排出枠償 却後不足分をボロージング	6	2,091

※2: 3者はなお余剰する昨年度までのバンキング分を今年度も引き続きバンキング（1,969万t-CO<sub>2</sub>）。

※3: 14者は昨年度までのボロージング分を今年度も引き続きボロージング（2,625万t-CO<sub>2</sub>）。

2008年度から  
2010年度まで  
の累積

バンキング（累積）	108者	3,261万t-CO <sub>2</sub>
ボロージング（累積）	26者	5,081万t-CO <sub>2</sub>
目標未達成（累積）	16者	47万t-CO <sub>2</sub>

（参考）JVETSでは実排出ベースの目標達成者32者の余剰排出枠の内、売却（5者、0.3万t-CO<sub>2</sub>）、バンキング（25者、1.8万t-CO<sub>2</sub>）、取消等（7者、0.3万t-CO<sub>2</sub>）。実排出ベースの削減不足者36者は他者排出枠の取引（35者、2.5万t-CO<sub>2</sub>）を活用。